

EdTech 導入補助金2022

令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社137

【ツール名】

学校連絡・情報共有サービス
COCOO(コクー)

【ツールの機能分類】

オプションツール
(校務支援・教職員研修等)

2023年2月

より良い学びの未来をつくる
学校連絡・情報共有サービス

COCOO (コクー)

For teachers and school administration
For parents
For children & students



【教育DX】誰一人取り残さない

教育にエビデンス (科学的根拠) のあるアプローチ

1

欠席連絡自動受付

電話とWebで24時間受付

電話音声は多言語対応
(日本語/英語/中国語/スペイン語)



出席簿形式 ダウンロード&印刷可能

2

家庭への連絡

アンケートも簡単作成

電話やスマホ、PCでの
受信・回答OK!



メールや音声メッセージの
一斉配信&自動集計も対応

3

カレンダー共有

プリント配布の手間を削減

クラス別/全校単位も
登録可能
保護者カレンダーに
リアルタイム表示



予定変更の通知も対応
ご家庭の予定の追加もOK!

【学校COCOO主な3つの機能】

学校と家庭・先生同士の「連絡・情報共有」をもっと便利に もっと快適に

1 欠席連絡自動受付

電話とWebで24時間受付

電話音声は多言語対応
(日本語/英語/中国語/スペイン語)

出席簿形式ダウンロード&印刷可能

1 24時間欠席連絡自動受付 電話もWEBも自動集計。出席簿の自動作成/出力可能！
学校ごとに2つの専用電話番号をシステムに組み込み、朝の職員室の電話がほぼ鳴らない環境を生み出しました。

- 電話** 学校指定の専用電話番号で24時間受付。
保護者は音声自動応答に従い、プッシュ操作で欠席登録。
(日本語・英語・中国語・スペイン語対応)
- スマホ・PC** 保護者専用Webでいつでも欠席連絡の登録可能。メモ欄付。
保護者様専用Webサイトのカレンダーで記録の確認も簡単！

2 家庭への連絡

アンケートも簡単作成

電話やスマホ、PCでの
受信・回答OK!

メールや音声メッセージの
一括配信&自動集計も対応

2 家庭への連絡 保護者様ご自身で希望の受信方法に設定可能！

- お子様1名ごとに、保護者様3名までメールまたは電話への配信登録が可能。
メールからも保護者様専用Webからでもお知らせ確認ができます。
- スマホやPCを利用しない保護者様には、
電話に音声情報が届きます。アンケートにプッシュ操作で回答ができます。

3 カレンダー共有

プリント配布の手間を削減

クラス別/全校単位も
登録可能

保護者カレンダーに
リアルタイム表示

予定変更の通知も対応
ご家庭の予定の追加もOK!

3 カレンダー共有 学校の予定は、家族と共有・自動更新されます！

教職員が登録した予定は保護者様専用Webサイトのカレンダーに共有！
保護者様は、保護者専用Webサイトから、お子様ごとの行事の確認の他、
お子様ごとの欠席連絡、お知らせ確認（アンケート回答）などができます。
※行事登録や日程変更のお知らせは、学校から保護者様へ自動通知される機能
(学校設定) があります。

COCOOは専用電話番号を2つ提供
職員室の電話が激減 話し中にもならない

朝の職員室
8:00 - 8:15

インフルエンザ時期は、電話が
集中し繋がりにくいことも多い

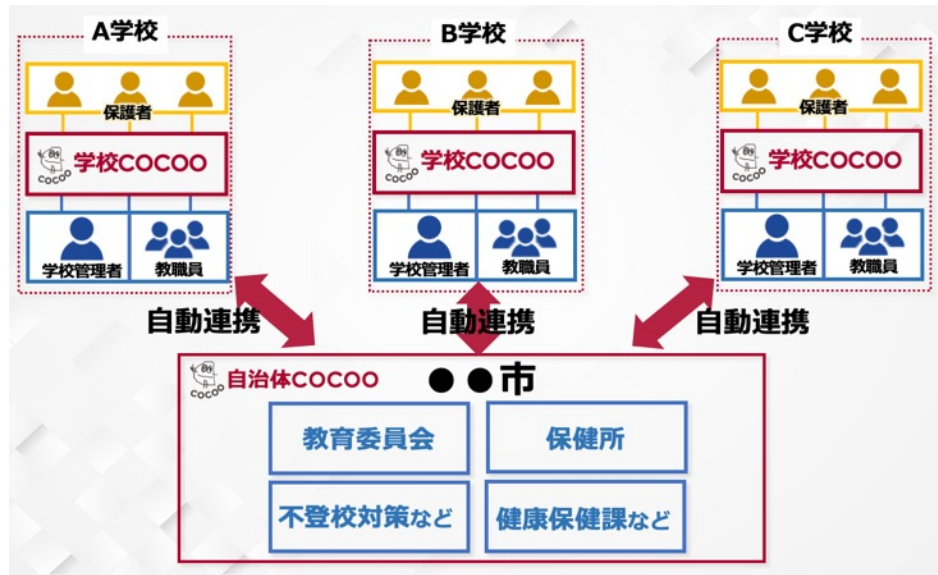


【教育DX COCOO の特徴】 誰一人取り残さないをテーマに、教育情報プラットフォームとして新たな価値を生み出し、教育現場の課題を解決するICTソリューションです。

- ① 誰一人取り残さない 情報共有インフラ構築による新たな社会的・経済的価値の創出
- ② リアルタイムな情報共有によるデータの可視化、エビデンスに基づくアプローチの支援

学校や教育の社会課題を解決するための事業構想からシステムデザイン設計されたCOCOOは、コロナ関連欠席者の増加や体調不良などによる長期欠席理由をより詳細に自動集計し、ケアが必要な学校・児童生徒の存在に早く気づくデータ利活用の環境構築に向け、学校と自治体とのデータ自動連携やデータの可視化へと進化しています。

※国内特許取得、国際特許PCT出願完了



COCOO 情報連携・情報共有のイメージ

先生は入力しません。保健所や教育委員会へ 全自動連携

The infographic shows a flow from '保護者' (Parents) via a smartphone to '学校' (School) and '自治体' (Municipality). The school side includes '学校管理者' and '教職員'. The municipality side includes '職員' (Staff) and '教育委員会 保健所 他' (Education Commission, Health Center, etc.). A central box highlights 'データ連携の自動化&可視化を実現!' (Achieving automation and visualization of data integration!). Below this, it states '月別の出席簿作成も全自動化! 先生の入力&集計は不要' (Monthly attendance book creation is fully automated! No need for teacher input and calculation). It also mentions '出席簿と異フォーマットに自動集計表示 出席簿としてダウンロードし、印刷も可能!' (Automatic calculation and display in different formats, download as attendance book, and printing is possible!). A date stamp at the bottom right says '2022年11月 特許査定中' (November 2022, Patent application in progress).

【利用料 (税抜)】 学校COCOO 初期導入費 30万円/校 ※自治体様にて全校導入の場合、別途ご相談対応いたします。
月額利用料. 3万円/月 (児童生徒数+教職員数 1000人未満の場合、2電話番号 + 電話通信費込)

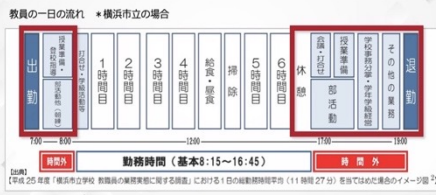
■ 学校等教育機関の抱える課題

【学校現場が抱える課題】

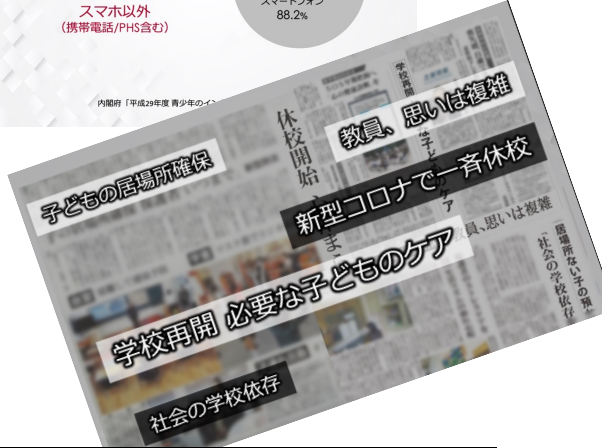
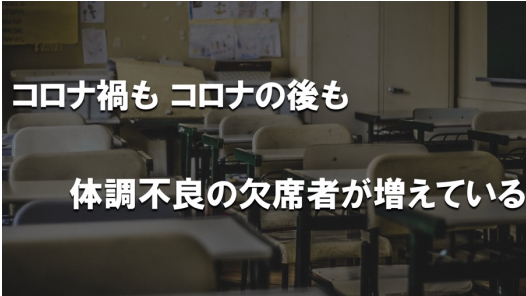
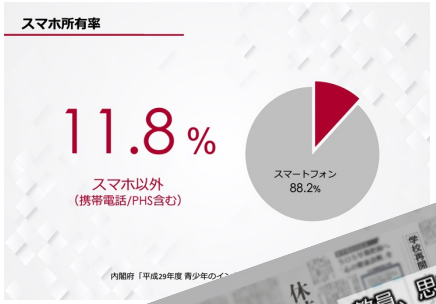
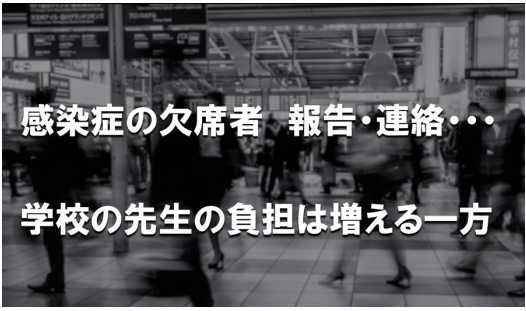
- 1 先生の長時間労働
 - 2 情報共有の非効率・不確実性
 - 3 学校に行きにくくなっている児童生徒の増加
- ※不登校または不登校傾向児童の増加 推計約43万人（全体の13.3%）
（日本財団「不登校傾向にある子供の実態報告書」）

早朝と放課後に業務が集中

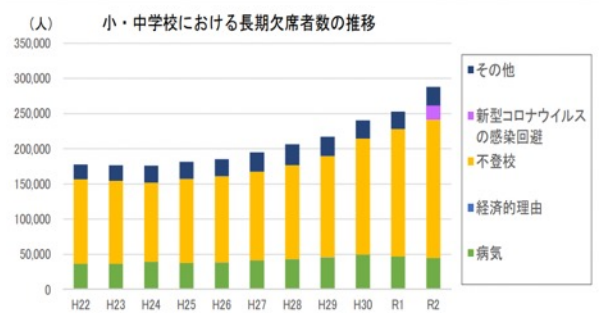
7:30~19:01 ▶ 11時間超



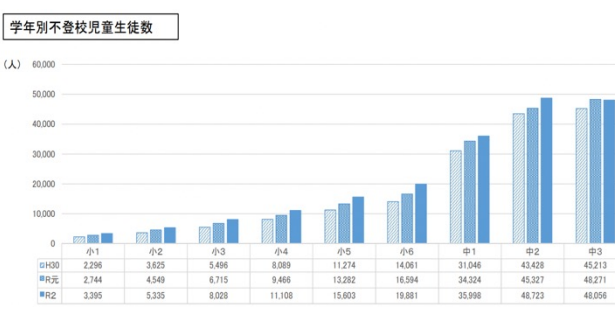
【教育現場における社会課題】



小・中学校における長期欠席の状況について



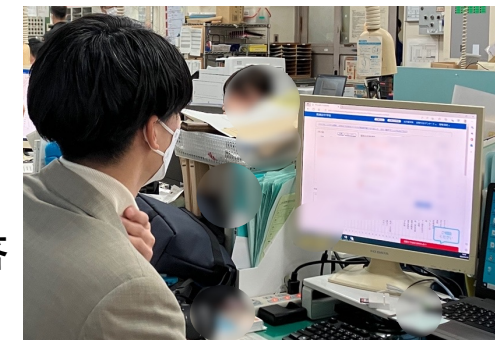
小・中学校における不登校の状況について



出典：文科省資料[令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要]から
https://www.mext.go.jp/content/20201015-mext_jidou02-100002753_01.pdf

■ EdTech導入補助金2022における活用事例

1 先生の長時間労働



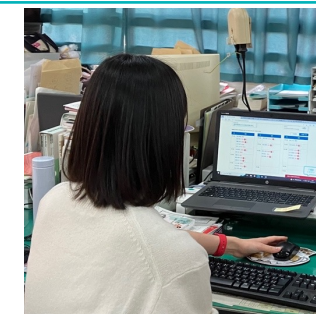
- ・朝、欠席連絡の受電対応の件数が減り、楽になった。
これまで電話対応に追われていた時間を別の業務に有効活用できる。
- ・欠席連絡を確認し、個別にお知らせも送れるので、連絡の流れがスムーズで楽になった。
- ・面談の希望日の日程調整、学校評価アンケートは紙配布・集計ではなくアンケート機能を利用。保護者からの回答が一覧の表で確認できるのが非常に便利。紙の印刷・配布・集計作業の手間が省け、業務負担軽減につながった。

2 情報共有の非効率・不確実性

- ・欠席連絡と一緒に保護者が書いてくれるメモ(原文)は担任の先生以外でも確認できるので、「こんな連絡が入ってますよ」と担任の先生へ連携をし必要があれば電話をかける流れができています。生徒の状況がわかりやすいので教職員にとっても安心感がある。
- ・これまで紙で配布していたお知らせやアンケートをメール配信できるようになり、確実に保護者へ連絡ができるようになった。
重要なお知らせこそ紙配布がいいと思っていたが、生徒から保護者へプリントの渡し忘れもあるため、保護者からは「重要なお知らせこそCOCOOで送ってほしい」とのお声をいただいている。
- ・部活の時には、雨でグラウンドが使えない・時間変更などの急遽変更になったお知らせや、遠征から帰宅する際の到着時刻など、学内だけでなく学外からお知らせ配信できるようになった。教職員の手間を増やすことなく、きめ細やかに保護者へ情報をお届けできるようになり、保護者の安心感につながっている。

3 学校に行きにくくなっている 児童生徒の増加

- ・学校に来ていない家庭に対しては、電話がつながりにくいので、メールで学校からの連絡や進路のご案内をしている。
電話とは違う新たな連絡手段として、双方向の連絡ができるのが助かります。
保護者からも、COCOOで欠席連絡をできるので助かりますとお声をいただいている。
- ・保護者にとっても、24時間好きな時間に欠席連絡ができるので利便性が向上した。

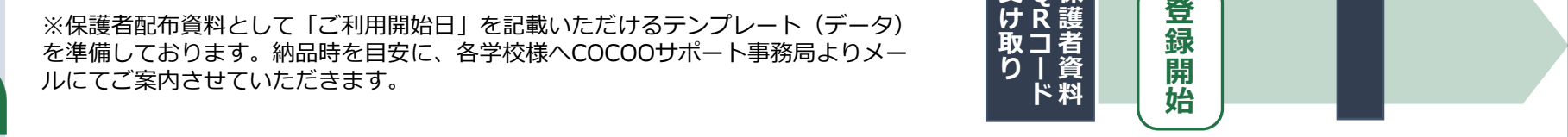
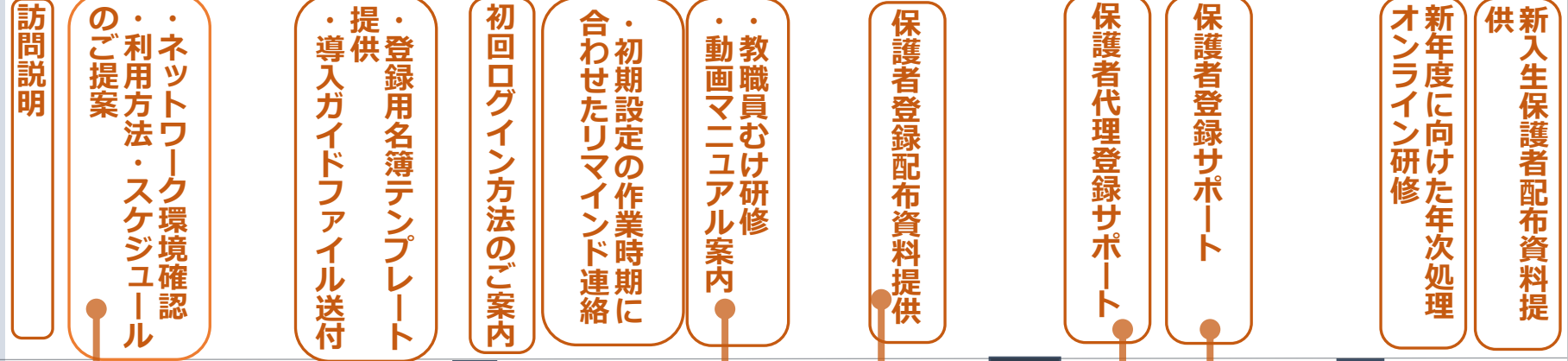


■ 補助事業において実施したサポート内容



お申込み～準備期間 (約1ヶ月) | 初期設定期間 (約2週間) | 教職研修・保護者登録期間 (約1ヶ月) (オンライン研修期間・動画マニュアル有) | 運用開始

【通常サポート業務】 電話(自治体職員・教職員専用)・保護者メール・お問い合わせフォーム・チャット



※保護者配布資料として「ご利用開始日」を記載いただけるテンプレート(データ)を準備しております。納品時を目安に、各学校様へCOCOOサポート事務局よりメールにてご案内させていただきます。

【COCOOサポート窓口】

- ① 教職員専用 電話問合せ
コールセンター
TEL 050-****-****
営業時間 平日9:00 - 17:00
- ② サポート事務局宛 メール
cocoo.support@137.co.jp
- ③ お問い合わせフォーム
お問合せ
- ④ チャットで質問
チャットで質問

＜ご注意＞
なりすまし等のリスク抑止のため、保護者様はお電話によるお問合せはご利用いただけません。保護者様は、メール、お問い合わせフォーム、チャットで質問をご利用ください。



■ 補助事業において実施したサポート内容

【2022年度 導入校へのCOCOOサポートの一例】 ※通常サポートと同様

お申込み・準備期間

初期設定・研修期間

保護者登録期間

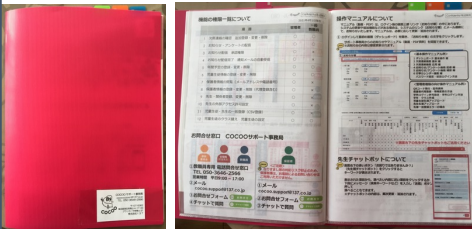
運用開始

【補助事業におけるサポート例】 ヘルプデスク電話 (自治体職員・学校の教職員限定) ・ メール ・ お問い合わせフォーム ・ チャットボット



サービス申込み

- ・導入運用スケジュール策定
- ・自治体/学校 説明訪問
- ・導入ガイドファイル送付(1校1冊)
- ・COCOO登録用名簿テンプレート送付



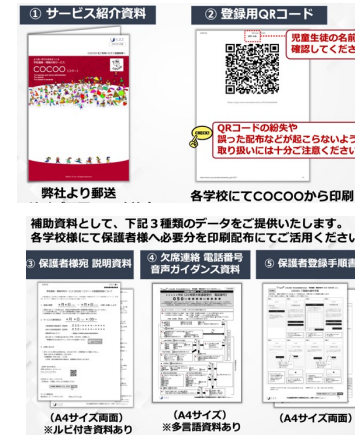
サービスご利用開始

- ・教職員様向け、使い方研修 (オンライン又は訪問対応)
- ・動画マニュアルのご提供



保護者登録(保護者説明会)

- ・保護者様向け資料のご提供 (ひらがなルビ付、多言語版あり)



サービス運用開始

- ・電話によるヒヤリング、活用事例のご紹介

【年次更新研修実施 (計2回)】

【次年度に向けたオンライン研修会 計5回開催】

- ・紹介編、実践編 各2回
- ・管理者編 各1回



【自治体&学校教職員対象研修開催】 (訪問または オンライン)



- ・COCOOサポート事務局による 保護者情報代理登録サポート



1. 新年度に向けたご説明

- 1-1. スケジュールの確認
- 1-2. 操作手順の確認



- ・COCOOサポート事務局による 保護者登録サポート

- ・COCOOサポート事務局による 保護者お問合せ対応



教職員



保護者

● 本事業においてEdTech ツールを導入した学校等教育機関

【横浜市立南瀬谷中学校様】

生徒数：469人

教職員数：30人



【登録者数、欠席連絡自動集計数】

学校名	登録児童 生徒数(人)	欠席 連絡(件)	遅刻 連絡(件)	早退 連絡(件)	登校 連絡(件)	下校 連絡(件)	欠席連絡総計 (件)
横浜市立南瀬谷中学校	469	2,064	406	81	91	0	2,642

【登録者数、お知らせ配信集計数】

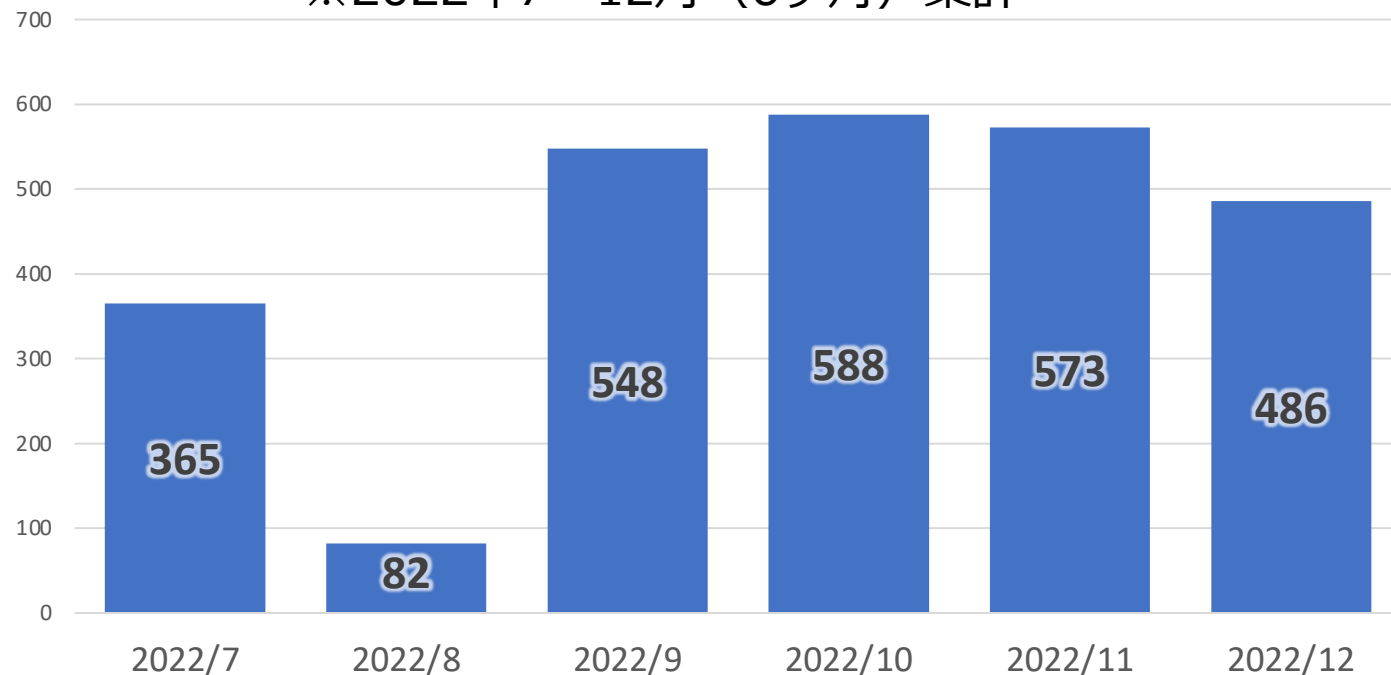
学校名	登録児童 生徒数(人)	お知らせのみ 配信数(件)	お知らせ配信 添付ファイル付 (件)	お知らせ配信 アンケート付 (件)	お知らせ配信 総計(件)
横浜市立南瀬谷中学校	469	302	71	51	424

■ EdTechツールによる活用効果

- 横浜市立南瀬谷中学校様
(児童生徒数計 469人、教職員数 約30人)

欠席連絡受信件数 (月別)

全2,642件 (うち182件電話連絡)
※2022年7~12月 (6ヶ月) 集計



課題1：先生の長時間労働

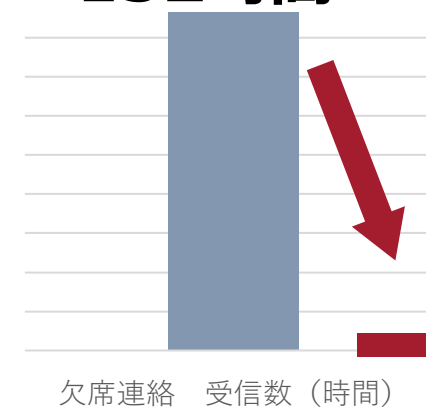
● 導入効果1：教職員の業務負担を大幅削減

- ・2022年7月~12月の6ヶ月間で、COCOOが自動受付・集計した欠席連絡受信件数は全2,642件。集計時間を1件あたり3分と仮定すると、**約132時間が先生の自由な時間に活用できたことになる。**
- ・コロナの影響などで生徒の出欠席状況の管理が複雑化するも、感染症関連の欠席状況や検温/健康観察アンケートの自動集計により教職員の負担は大幅に削減。
- ・個別最適なより良い学びの未来づくりのサポートに、教職員の働き方改革も同時並行で実装。

欠席連絡 集計時間

約2,642件×3分(仮定)

=132時間



※先生が欠席電話の受電対応から欠席集計までを1件3分と仮定した場合

- 副次的効果：多忙な朝の職員室に電話が鳴らない環境を提供し、朝の授業準備に集中できるようになった。

■ EdTechツールによる活用効果

●横浜市立南瀬谷中学校様

欠席連絡受信件数 **全2642件** うち、電話利用件数**182件 (6.9%)**

※2022年7～12月 (6ヶ月) 集計

学校名	登録児童 生徒数 (人)	欠席連絡 合計(件)	電話利用 件数(件)	電話 利用率(%)
横浜市南瀬谷中学校	469	2,642	182	6.9%

課題2：情報共有の非効率・不確実性

●導入効果2：ウェブからだけでなく、電話からも、24時間 欠席連絡の受付が可能

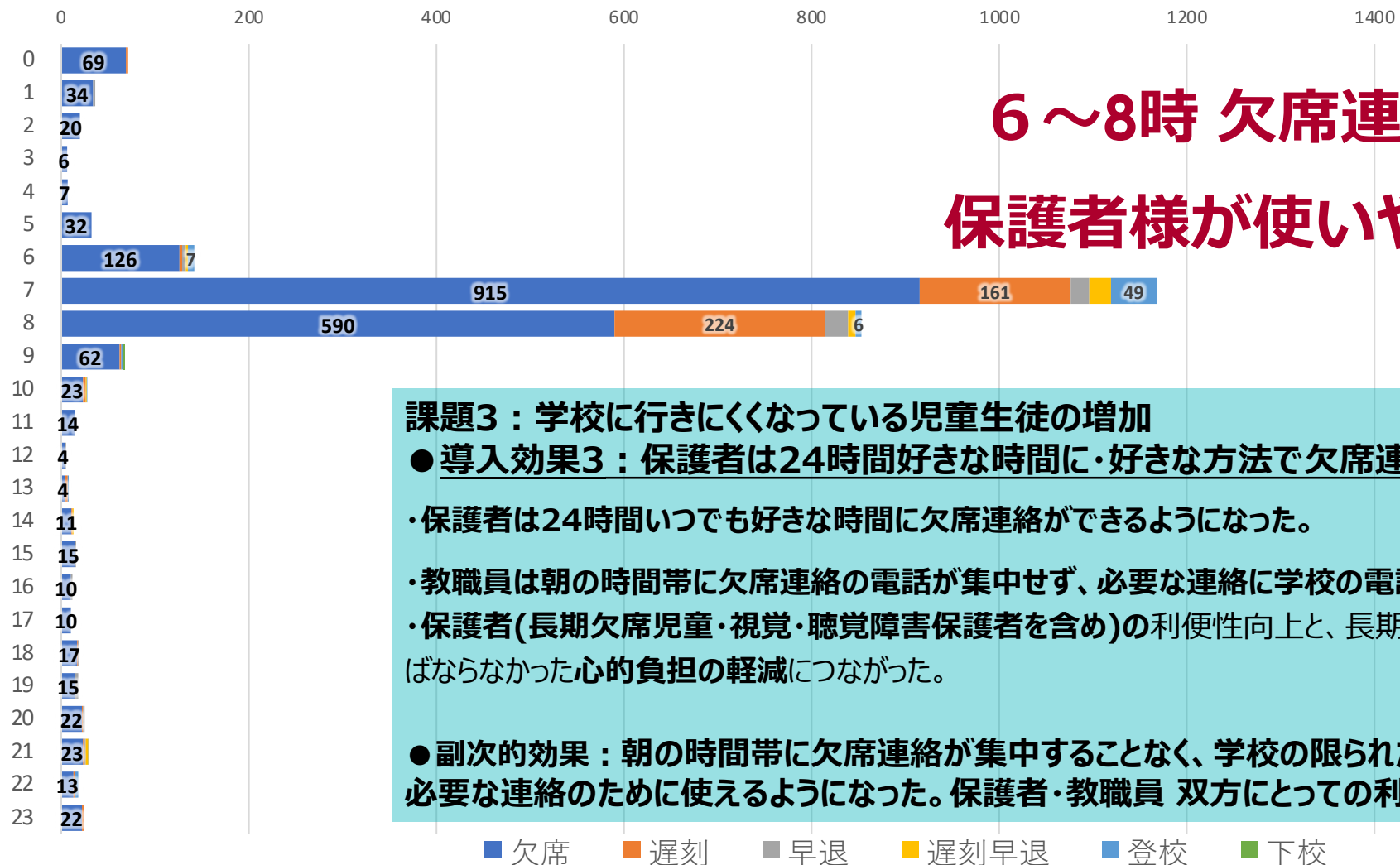
・欠席連絡総数(2642件)のうち、6.9%が電話で欠席連絡をしていた。固定電話などの利用者を取り残さない、誰もが利用可能な環境を提供。

・電話からCOCOOに欠席連絡をする場合には、多言語にも対応し、日本語以外の保護者様にも活用いただけた。

■ EdTechツールによる活用効果

● 横浜市立南瀬谷中学校様

利用時間帯別（0～24時） 欠席連絡受信件数



6～8時 欠席連絡の急増
保護者様がいやすい時間

課題3：学校に行きにくくなっている児童生徒の増加

● 導入効果3：保護者は24時間好きな時間に・好きな方法で欠席連絡ができる環境に

- ・保護者は24時間いつでも好きな時間に欠席連絡ができるようになった。
- ・教職員は朝の時間帯に欠席連絡の電話が集中せず、必要な連絡に学校の電話回線を使えるようになった。
- ・保護者(長期欠席児童・視覚・聴覚障害保護者を含め)の利便性向上と、長期欠席の場合、毎朝電話しなければならなかった心的負担の軽減につながった。

● 副次的効果：朝の時間帯に欠席連絡が集中することなく、学校の限られた電話回線を直接の会話が 必要な連絡のために使えるようになった。保護者・教職員 双方にとっての利便性が向上した。

【横浜市立南瀬谷中学校様】

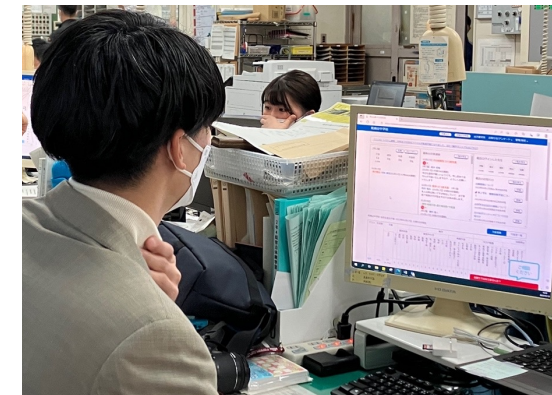
・朝、出勤をしたら**COCOOで欠席連絡を確認**。保護者からのメモに「電話いただきたいです」とあれば、**担任の先生に伝えて電話する流れ**ができています。

・生徒がどういう状態で休んでいるかが、**保護者からのメモで分かるので安心**です。

・アンケート機能は、**個人面談の希望日調査のアンケート・学校評価アンケート**などに活用しています。アンケート集計結果は、**回答が集計された一覧表示**で確認できるので、COCOOが便利です。

・今まで部活の連絡は、連絡網や部長経由で電話で連絡していた。**急な予定変更や雨天中止、時間変更**などは、お知らせ配信で**土日でも連絡**できるようになった。

・**学校外からも連絡**できるので、試合の遠征やコンクールなどの帰りに校外からでも**帰宅時刻の連絡**を保護者にできる。



【EdTech ツールの導入・運用における課題】

【導入・運用における課題】

1. インターネット環境について

朝、職員室でインターネットの利用が集中する時間帯に、繋がりにくい時がある。

2. セキュリティと利便性のバランスについて

先生や生徒の個人情報が含まれている環境のため、2段階認証を経てログインすることになっている。セキュリティを高めている一方で、ログインに少し手間がかかってしまう。

・教職員間で操作方法や具体的な活用方法を共有する雰囲気があり、ほぼ全員が利用できるようになっている。



【今後、解決するための改善策】

1. 学校の通信インフラの改善

自治体で、学校の通信インフラを順次、改善していると聞いている。それに伴い、インターネットの接続環境も改善すると期待している。学校現場のネットワーク環境に制限がある中での利用に際し、全職員が一人ずつ、同一時間帯にPCへ集中してアクセスすることを避けるためにも、職員室の大型ディスプレイ画面などに接続し共有する方法も提案していく。

2. セキュリティの重要性について研修内容に盛り込む

一部の先生には理解していただいているが、他の先生にもセキュリティを高めることの重要性を理解してもらうため、研修などで啓発していく。また、先生のログインの利便性を上げる方法として、ログイン画面をお気に入りに登録したりスマホのホーム画面に追加するなどの便利な方法についても共有していきたい。

代表取締役社長

黒田 千佳

設立

2014年1月（2014年11月より営業開始）

URL

<https://www.137.co.jp>

主な事業内容

社会課題解決に向けた事業構想(プロジェクトデザイン)、新規事業企画開発
Webコンテンツの企画開発、運営販売に関する事業
人材育成・教育に関する事業

本社 東京都港区南青山4-17-33 グランカーサ南青山2F
COCOOお問合せ メール cocoo.support@137.co.jp
COCOOサポート事務局 TEL 050-3646-2566

資本金 ¥5,000,000（2021年9月末現在）

サービス導入実績 2022年1月末現在

【緊急時情報伝達システム「5co Voice」（ゴコボイス）】

横浜市金沢区様、東京都足立区様、横浜市青葉区様、横浜市都筑区様、
横浜市南区様、横浜市港北区様、横浜市西区様、横浜市鶴見区様、
横浜市旭区様、横浜市神奈川区様、埼玉県吉川市様、東京都中野区様、
埼玉県上尾市様、栃木県市貝町様、群馬県藤岡市様、群馬県玉村町様など

【学校連絡・情報共有サービス「COCOO」（コクー）】

東京都墨田区小中全校 35 校、横浜市立 70 校、広島県福山市立小中 9 校、茅ヶ崎市小中学校全校32校、
静岡県特別支援学校全校/中高一貫校 /県立高等学校 計 28 校、岐阜県瑞浪市小中全校 10 校など

2022年12月現在 全国 約270 校（アカウント） ※EdTech2022補助金導入数を含む





【教育DX COCOCOが目指していること】

誰一人取り残さない 人間中心設計のシステムデザインによる
デジタル社会に向けた より良い未来の教育環境づくり

① 誰一人取り残さない 情報共有インフラ構築による新たな社会的・経済的価値の創出

教職員の業務負担軽減とコスト削減、さらには誰一人取り残さない人間中心設計のシステムデザインによる学校と家庭の連絡・情報共有。そして利便性の向上により生み出された時間や心の余裕などから、個別最適な「豊かな学び」と「健全な育成環境」に繋げていく。

② リアルタイムな情報共有によるデータの可視化、エビデンスに基づくアプローチの支援

教育DXが生み出すデータの利活用を通し、新たな社会的・経済的価値を創出する。教職員の業務負担軽減にとどまらず、データ利活用＝エビデンスに基づいたより良い教育環境の構築と、個別最適な育成やケアの好事例を官民連携で共に作り、多くの自治体・学校へ共有していきたい。

教育にエビデンス（科学的根拠）のあるアプローチへ

【EdTech導入補助金2022活用による成果の分析と考察】

- 保護者からの欠席連絡の一次情報を教職員全体で共有することで、学校全体で生徒を見守る体制につながり、教職員間でのコミュニケーションも広がった。日々変化する家庭の状況が伝わりやすく、教職員にとっての安心感や状況に合わせた対応にもつながっている。
- 電話が繋がりにくいご家庭や学校を休みがちな生徒のご家庭にとって、電話以外の新たな双方向の連絡手段としてCOCOCOが価値を生み出している。
- ITスキルの高い先生を中心に活用の幅を広げ、具体的事例を他の先生へ共有することで、先生全体のITスキル向上につながっている。
- 教育DX COCOCOは、誰一人取り残さないをテーマに、教育現場の「課題解決」と「未来創造」を兼ね備えたWEBサービスとして、コロナ禍でも学校と保護者・先生同士の情報共有の利便性を高め、先生の業務負担軽減により生徒と向き合う時間が増加。
- 新たなDXが生み出す価値を体感する学校（先生や保護者）を増やすことができた。例えば、これまで紙配布を重要視していた価値観から、デジタル配信の利便性を先生・保護者ともに実感できている。
- 欠席連絡受付件数やお知らせ配信数などを数値化することで、教職員の業務負担を再認識し、働き方改革に向けた解決方法を検討するための材料になっている。
- これまで短時間に集中していた電話による欠席連絡も、保護者の生活環境に合わせて自由なタイミングでできる環境にすることで、24時間途切れることなく受付けていたことが可視化された。

●**教育改革は、未来の国づくり。** パソコン(機械)を使って入力作業することや、お便りをメールに変えて配信などの教育のデジタル化というよりも、COCOCOは、デジタル・トランスフォーメーション(DX) = あらゆる人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる、誰一人取り残さない事業構想からのシステムデザイン設計、実装を通しながら改良改善を進め、新たな社会的・経済的価値を生み出すシステムサービスを提供することができた。

●**教職員の業務負担を軽減し、心身のゆとりある学びの環境づくりと、学校と家庭の信頼関係の再構築が大切な時代。** 学びと健全な育成環境には、教職員/保護者、そして生徒自身の心身の健康が欠かせない。誰一人取り残さない教育の社会インフラを目指す教育DXを通し、より良い学びの環境づくりに向けた新たな価値提供へと、技術の進化とICTシステムツールのデザイン設計には、ユニバーサルデザインが必要と痛感した。

●学校と家庭、先生同士のデジタル情報格差の課題解決に向け、スマホやタブレット、PCなどのデバイス限定されることなく、インターネットが利用できない家庭への配慮、また、言語や視覚・聴覚障害の壁を超えた情報共有を目指し、COCOCOは教育DXとして「誰一人取り残さない 良い学びの未来づくりの情報インフラデザイン」と、事業構想からのシステムデザイン設計&アジャイル開発で、より良い学びの未来をデザインしていきたい。